



「湘南しいたけ」で栽培するキクラゲを見せてもらう生徒たち

熱心に職場見学

伊達の中学校特別支援学級

シイタケ栽培場など

【伊達】伊達市内の中学校で特別支援学級に在籍する生徒がこのほど、市内外の事業所を訪問し、働くことや社会参加について学んだ。

伊達市教育研究会・特別支援合同学習委員会が、将来の進路や就労について考えるきっかけづくりとして実施。昨年まで3年間はおオンラインで

行っていたが、今年は4年ぶりに直接訪問した。

南黄金町にある室蘭言葉学園が運営する就労継続支援B型事業所「湘南しいたけ」（藤澤憲将所長）では、シイタケやキクラゲの栽培現場を見た。

事業所の担当者が、生産しているシイタケを道の駅や農協、道内のスー

パーなどに出荷していることを紹介。キクラゲのハウスでは、「室温を温かく、湿度も高くしないと育たないので、暖房を入れていない。熱や湿気が逃げないように、出入り口は特別なクロスで囲っている」と説明を受け、生徒らは熱心にメモを取っていた。

この日は、パンを製造している活動支援施設「あけほの」（室蘭市白鳥台）や、製菓・軽作業の「わく・WORKランタナ」（同陣屋町）を見学した。（松本一彦）